

ボノピオンパック

【この薬は？】

販売名	ボノピオンパック VONOPION Pack
-----	---------------------------

この薬は以下の3つの薬（タケキャブ錠20mg、アモリンカプセル250、フラジール内服錠250mg）を組み合わせたものです。

販売名	タケキャブ錠20mg Takecab Tablets 20mg	アモリンカプセル 250 AMOLIN CAPSULES 250	フラジール内服錠 250mg Flagyl Oral Tablets 250mg
一般名	ボノプラザンフマル酸塩 Vonoprazan Fumarate	アモキシシリン水和物 Amoxicillin Hydrate	メトロニダゾール Metronidazole
含有量 (1カプセル 又は1錠中)	ボノプラザンとして 20mg (ボノプラザンフマル酸塩 26.72mg)	アモキシシリン水和物 250mg (力価)	メトロニダゾール 250mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・タケキャブ錠は、プロトンポンプ阻害剤と呼ばれるグループに属する薬で、胃の中で酸分泌を抑えます。
- ・アモリンカプセルは、ペニシリン系抗生物質と呼ばれるグループに属する薬で、殺菌的な抗菌作用を示します。
- ・フラジール内服錠は、抗原虫剤と呼ばれるグループに属する薬で、抗原虫作用および抗菌作用を示します。
- ・アモリンカプセルとフラジール内服錠はヘリコバクター・ピロリ菌を殺菌する作用があります。タケキャブ錠は胃酸の分泌を抑えることで、アモリンカプセルとフラジール内服錠の抗菌作用を高めると考えられています。
- ・次の病気の人に処方されます。

【適応症】

胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃MALTリンパ腫・特発性血小板減少性紫斑病・早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎

【適応菌種】

アモキシシリン、メトロニダゾールに感性のヘリコバクター・ピロリ

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にタケキャブ錠、アモリンカプセル、フラジール内服錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩を使用している人
- ・伝染性単核症にかかっている人
- ・腎臓に高度な障害がある人
- ・脳や脊髄に器質的な疾患（脳腫瘍を除く）のある人
- ・妊娠3ヵ月以内の人

○次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。

- ・過去にペニシリン系抗生物質で過敏症のあった人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

【タケキャブ錠】

- ・肝臓に障害がある人
- ・腎臓に障害がある人
- ・高齢の人

【アモリンカプセル】

- ・過去にセフェム系抗生物質で過敏症のあった人
- ・本人または両親、兄弟に気管支喘息（ぜんそく）、発疹（ほっしん）、じんま疹（しん）などのアレルギー症状をおこしやすい体質の人がいる人
- ・高齢の人

- ・経口による摂取ができない人、経口以外の方法で栄養を摂取している人、全身状態の悪い人

【フラジール内服錠】

- ・血液疾患のある人
 - ・脳腫瘍のある人
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・コケイン症候群の人
 - ・高齢の人
- この薬には併用してはいけない薬[アタザナビル硫酸塩（レイアタッツ）、リルピピリン塩酸塩（エジュラントなど）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎の場合、この薬の使用前に、ヘリコバクター・ピロリが陽性であることおよび内視鏡検査によりヘリコバクター・ピロリ感染胃炎であることが確認されます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。
3つの薬を同時に飲んでください。

一回量	タケキャブ錠 20mg 1錠 アモリンカプセル 250 3カプセル フラジール内服錠 250mg 1錠
飲む回数	1日2回
飲む期間	7日間

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。
気が付いたときに1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は、授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

【アモリンカプセル】

- ・ショックがあらわれることがあります。このような症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。

【フラジール内服錠】

- ・白血球減少や好中球減少があらわれることがあるので、定期的に血液検査が行われることがあります。
- ・中枢神経障害があらわれることがあるので、ふらつき、歩行障害（上手く歩けない、まっすぐ歩けない、転びやすい、小刻みに歩く）、意識障害（意識の低下、意識の消失）、構語障害（舌のもつれ、しゃべりにくい）、手足のしびれなどの症状があらわれた場合には、ただちに受診してください。
- ・肝臓に障害があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査が行われることがあります。
- ・この薬を使用中にアルコールを飲むと腹痛、嘔吐（おうと）、潮紅などの症状があらわれることがあるので、この薬を飲んでいる間は飲酒を避けてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

【タケキャブ錠】

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はつけつきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
中毒性表皮壊死融解症 ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節や喉の痛み

【アモリンカプセル】

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
中毒性表皮壊死融解症 ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいししょう	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（ステイブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（ステイブンス・ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節や喉の痛み
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほっしんせいのうほうしょう	発熱、皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をともなう発疹が出る
紅皮症（剥脱性皮膚炎） こうひしょう（はくだつせいひふえん）	ほぼ全身の皮膚が発赤する、発熱をしばしば伴う、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる
重篤な腎障害 じゅうとくなじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい、高血圧
顆粒球減少 かりゅうきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんとうのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる、お腹が張る、激しい腹痛、下痢、嘔吐、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、水のような便が出る
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
好酸球性肺炎 こうさんきゅうせいはいえん	発熱、咳、息切れ、息苦しい
無菌性髄膜炎 むきんせいずいまくえん	発熱、吐き気、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい

【フラジール内服錠】

重大な副作用	主な自覚症状
末梢神経障害 まっしょうしんけいしょうがい	手足のしびれ、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、物がつかみづらい、歩行時につまずく
中枢神経障害 ちゅうすうしんけいしょうがい	頭の痛み、しゃべりにくい、手足のふるえ、集中力の低下、物事が思い出せない・覚えられない
無菌性髄膜炎 むきんせいずいまくえん	発熱、吐き気、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい
中毒性表皮壊死融解症 ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（ステーブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（ステーブンス・ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中への痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
好中球減少 こうちゅうきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
出血性大腸炎 しゅっけつせいだいちょうえん	激しい腹痛、血が混ざった下痢、発熱、ふらつき、息切れ
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

	タケキャブ錠	アモリン	フラジール
部位	自覚症状	自覚症状	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、出血しやすい、発熱、寒気、突然の高熱、出血が止まりにくい、疲れやすい、体がだるい、力が入らない	発熱、冷汗が出る、ふらつき、発熱をしばしば伴う、むくみ、体がだるい、突然の高熱、寒気、出血が止まりにくい、疲れやすい、力が入らない、体がかゆくなる	発熱、突然の高熱、寒気、ふらつき、疲れやすい、体がだるい、力が入らない
頭部	めまい、意識の消失	めまい、意識の消失、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい	頭の痛み、集中力の低下、物事が思い出せない・覚えられない、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい

顔面	顔面蒼白、鼻血	顔面蒼白、鼻血	
眼	目の充血やただれ	目の充血やただれ、白目が黄色くなる	物がつかみづらい、目の充血やただれ
耳	耳鳴り		
口や喉	喉のかゆみ、歯ぐきの出血、喉の痛み、吐き気、唇や口内のただれ	喉のかゆみ、唇や口内のただれ、喉の痛み、歯ぐきの出血、吐き気、嘔吐、咳	しゃべりにくい、吐き気、唇や口内のただれ、嘔吐、喉の痛み
胸部	動悸、息苦しい、息切れ	動悸、息苦しい、息切れ	息切れ
腹部	食欲不振	腹痛、お腹が張る、激しい腹痛、食欲不振	激しい上腹部の痛み、お腹が張る、激しい腹痛、食欲不振
背中			背中痛み
手・足	手足が冷たくなる、関節や喉の痛み	手足が冷たくなる、関節や喉の痛み	手足のしびれ、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、歩行時につまづく、手足のふるえ
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、あおあざができる、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をともなう発疹が出る、ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、あおあざができる、皮膚が黄色くなる	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、お腹にあざができる
便		血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、水のような便が出る	血が混ざった下痢
尿		尿量が減る、尿の色が濃くなる	
その他		高血圧	

【この薬の形は？】

販売名	タケキャブ錠 20mg	アモリンカプセル 250	フラジール内服錠2 50mg
PTPシート (1日分)			
	表面		裏面
形状	両面割線入り フィルムコーティング錠 	硬カプセル剤 	円形の糖衣錠
長径	11.2mm	18.8mm	(直径) 10.8mm
短径	6.2mm	6.3mm	—
厚さ	3.9mm	—	6.0mm
重さ	229mg	377mg	600mg
色	微赤色	白色	白色
識別コード	タケキャブ20 (製剤表示)	⊕640	⊗763

【この薬に含まれているのは？】

販売名	タケキャブ錠 20mg	アモリンカプセル 250	フラジール内服錠 250mg
有効成分	ボノプラザンフマル酸塩	アモキシシリン水和物	メトロニダゾール
添加剤	D-マンニトール、結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、フマル酸、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール6000、酸化チタン、三酸化鉄	ステアリン酸マグネシウム、メチルセルロース、トウモロコシデンプン、ゼラチン、ラウリル硫酸ナトリウム	コムギデンプン、グリセリン、メチルセルロース、水アメ、タルク、ステアリン酸マグネシウム、白糖、デンプングリコール酸ナトリウム、アラビアゴム末、ゼラチン、沈降炭酸カルシウム、安息香酸ナトリウム、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：武田薬品工業株式会社 (<https://www.takeda.com/jp/>)

くすり相談室

フリーダイヤル 0120-566-587

受付時間 9:00～17:30（土日祝日・弊社休業日を除く）

提携：大塚製薬株式会社 (<http://www.otsuka.co.jp>)

医薬情報センター

電話番号：0120-922-833

受付時間：月～金 9:00～17:00

（土、日、祝日、休業日を除く）